

特集

「食と健康アワード2021」ノミネート商品紹介

カゴメ健康サービス事業「ベジチェック」  
皮膚カロテノイド量を測定し野菜摂取量の改善を促す

「食と健康アワード2021」にカゴメの健康サービス事業が展開する測定機「ベジチェック」がノミネートされた。このサービスは手のひらを機器に密着させ、LEDを照射することで皮膚のカロテノイド量を測定、そこから野菜摂取の充足度を計算するという非常に面白い機器だ。

平成30年の国民健康・栄養調査によると、日本人の1日の野菜摂取量の平均全世代は、281.4gとなっており、現状、成人の野菜摂取目標量の350gと大きく乖離している。そこで同社は2018年にトピビジネスを中核とする健康サービス事業をスタートし、野菜摂取の充足度を表示する機器「ベジチェック」のレンタル・リースや、管理栄養士による企業・自治体向けの健康セミナーを展開。現在ドラッグストアでは「食と健康」というキーワードが浮上しているため、野菜摂取の充足度を消費者に知らせることは、「食と健康」の推進にもつながっていく。こうした意味ではドラッグストアとの親和性が高く、店頭で設置することで消費者の健康意識の向上を促すことにつながる。

「ベジチェック」はタブレット端末に、LED搭載のセンサーをつなげた機器だ。皮膚のカロテノイド量を測定することで、野菜摂取の充足度を120段階(0.1~12.0)、野菜摂取量の推定値をg(グラム)で表示できる。センサーに手のひらを当て、数十秒で測定が完了するという簡便

さが特徴であり、利用者がその場で結果を見られる。

またカゴメの健康サービス事業は、企業の健康経営や自治体の健康増進への活用を目的とした「野菜と生活 管理栄養士ラボ」による健康セミナーも展開している。2020年11月からは「フレイル」の基礎知識をレクチャーする「しっかりわかる!ムリなく始める!フレイル対策の第一歩」と、「女性の健康」をテーマとした「生活習慣からはじめる!女性の健康の基礎作り」の2コンテンツの提供を開始した。受講形式は集合型、ライブ配信型(オンライン)のいずれかを選択可能だ。

このセミナーは、テーマに沿って食生活改善を中心とした健康増進の方法を学び、改善に向けた行動変容を促すことを目的としている。福島県矢吹町にてオンライン開催した際は、会場に住民33名が集まり、スクリーン画面越しに同社講師によるセミナーを熱心に聞く姿が見られた。テーマは違うが、これまでも健康セミナーを開催してきた。その受講者はのべ16,000名(2020年12月時点)を超えていることから、生活者の健康意識の高まりが理解でき、ドラッグストア企業はこうしたところにも目を向けたいところだ。



「ベジチェック」

伊東精麦所「大麦ポリフェノール」「大麦ベータグルカン」「長崎県産 押麦」  
大麦の機能性に着目した栄養補助食品を特許製法で商品化

大麦の機能性に着目した伊東精麦所の「大麦ポリフェノール」「大麦ベータグルカン」「長崎県産 押麦」が「食と健康アワード」にノミネートされた。

同社は2015年に「大麦由来のポリフェノールの製造方法、大麦外層糠の回収装置及び大麦外層糠の回収方法」(特許第5809763号)、2017年に「大麦糠の回収方法及び大麦糠由来物質の回収方法ならびに大麦糠回収装置」(特許第6231058号)の特許取得しており、前者は「大麦ポリフェノール」、後者は「大麦ベータグルカン」の製造に活用されている。「大麦ポリフェノール」は長崎県工業技術センターと共同で開発した商品であり、日本初、大麦糠から抽出した栄養補助食品だ。スティック型に個包装された粉末形状であり、そのままはもちろんのこと、飲料や食事、ヨーグルトなどに混ぜて摂取する健康食品となっている。

同品には大麦由来のポリフェノールが含まれており、100gあたりの含有量はワインの約2倍。大麦ポリフェノールはフロアントシアニンを多く含んでいる。

伊東精麦所の研究によって、大麦ポリフェノールが果皮・種皮の部分に多く含まれていることが判明している。そこで同社は、大麦(皮麦)・裸麦を複数の搗粉機で加工した大麦糠の外層部分から、ポリフェノールを抽出することを特徴とする製造方法である「大麦由来のポリフェノールの製造方法、大麦外層糠の回収装

置及び大麦外層糠の回収方法」の特許取得し、「大麦ポリフェノール」の製造に活用している。

「大麦ベータグルカン」も「大麦ポリフェノール」と同じく長崎県工業技術センターと共同で開発した栄養補助食品で、粉末形状がスティック型個包装されている商品だ。大麦β-グルカンは他の食材ではなかなか摂りにくい水溶性食物繊維。水に溶ける水溶性のため、水に溶かしての摂取も可能だが、同社は「お味噌汁やコーヒー等に溶かして飲まれるのもお勧め」としている。「大麦ベータグルカン」は、大麦糠に含まれるβ-グルカンを抽出する「大麦糠の回収方法及び大麦糠由来物質の回収方法ならびに大麦糠回収装置」によって製造されている。

「長崎県産 押麦」は、大麦の外皮を取り除いて加工したもので、米と一緒に混ぜて炊くのに最適な商品だ。もともと水分を吸収しにくいのが、料理として使いやすいするために熟処理後につぶしている。現在コロナ禍によって、消費者のヘルスケア意識が高まっている。サプリメントや健康食品だけではなく、普段の食事に健康に良いものを加えていこうという考え方が定着しつつある。小売業は、こうしたニーズを射る商品として「長崎県産 押麦」を取り上げたいところだ。



「長崎県産 押麦」

大麦パワーで健康長寿をサポート  
九州産大麦ポリフェノール

「大麦ポリフェノール」100gあたりに  
含まれるポリフェノール量はワインの約2倍!!



水溶性食物繊維  
ポリフェノール

大麦ポリフェノールとは?

ポリフェノールといえばワイン等がよく知られてますが、植物性ポリフェノールは多くの植物に含まれており「大麦ポリフェノール」は大麦由来のポリフェノールを含んでいます。日々の食事にプラスして健康生活を送ませんか?



特許取得商品 特許番号5809763号/第6231058号

毎日の食事で摂りづらい食物繊維を補える  
九州産大麦ベータグルカン

「大麦β-グルカン」とは他の食材では  
なかなか摂りづらい水溶性食物繊維です。



水溶性食物繊維  
大麦β-グルカン

大麦β-グルカンとは?

食物繊維には、「水溶性食物繊維」と「不溶性食物繊維」があり、異なる働きをしています。「九州産大麦ベータグルカン」では他の食材ではなかなか摂ることができない、水溶性食物繊維を手軽に補えます。日々の食事にプラスして健康生活を送ませんか?



特許取得商品 特許番号6231058号

ヘルスケア=予防で新たな市場を創造する

# 月刊H&Bリテイ

## Health & Beauty Retail

新春  
特別号

2021  
Vol.62

1

月刊H&Bリテイ 2021年1月号 通巻第62号 発行日:1月1日 発行元:ヘルスビジネスマガジン社 発行人:大矢 均 編集人:八島 充  
〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-5-3 信楽ビル新外神田5F TEL.03-3839-0751 FAX.03-3839-0753 info@health-mag.co.jp 年間購読料:13,200円(税別) 振替口座:00190-5-611380

## 登録販売者の存在価値を高めよ

コンビニ業界がOTC販売のルール緩和を要望  
日登協は組織・機能強化で会員10万人目指す

2020年度の成長率が7%超と予想され、8兆円市場が見えたドラッグストア業界に、新たな火種が起きている。日本フランチャイズチェーン協会(JFA)が医薬品登録販売者(以下、登録販売者)の「遠隔管理の容認」によるOTC販売ルールの緩和を求めているのだ。日本チェーンドラッグストア協会(JACDS)ならびに日本医薬品登録販売者協会(日登協)は厚労省に現状の販売ルールの整合性を訴えるが、内外にある登録販売者への認識不足が足を引っ張る可能性も否定できない。日登協は今春にも、陣容の強化とともに、登録販売者のさらなる資質向上に取り組む。この活動を通じ現状4万1,000人の会員をまずは10万人に増やし、職能団体としての存在感を高めていく考えだ。その実現には会員企業の協力が必須で、一社化を果たしたJACDSの組織力、結束力も試される。

### 資格者の確保は個々の企業努力

JFAは昨年10月、内閣府規制改革推進会議医療・介護WGに、コンビニにおける一般用医薬品の販売に関する要望書を提出した。登録販売者の確保が困難な状況で、OTCの実地管理と対面販売の規制が提供の足かせになっているとし、「資格者による遠隔管理」を求めている。

これに対しJACDSは、結果的に無資格者が保管と陳列をおこなうよ

うでは、医薬品の安全性を担保できず、かつ安全性を犠牲にするだけのニーズもないと指摘。購入機会などはドラッグストアの長時間営業やネット販売で補完できることを主張している。

また登録販売者の確保が困難という指摘には、累計30万人の合格者中ドラッグストアの勤務者は10万人超と潜在資格者が多いことから、資格者の確保は等しく個々の企業努力によるものだと言っている。

### 参加の意義感じられる団体へ

登録販売者が安全性を担保したOTCの販売と情報提供を実現し、日本薬業研修センターを通じた研修が資格者の資質維持・向上に役立っていることは業界内の常識だが、残念ながらその事実が正しく伝わっていない。

ドラッグストア勤務者が10万人いる中で、日登協の会員は4万1,000人に留まり、旧薬種商の登録販売者団体が同時に存在していることや、研修体制を巡ってVC組織と意見の相違があることも、職能団体としての地位が高まらなかった一因である。

日登協は今春にまでに陣容の強化を図り、さらなる資質向上に取り組むことを表明。2年間で10万人の会員獲得を目指している。これに歩調を合わせるJACDSの田中浩幸事務総長は、「資格者自身に参加の意義を感じていただくことで会員数を増やしたい」という。生活者の健康と



安全を守る姿勢を広くアピールしながら、数を力に変えていく考えだ。

2009年の制度施行以降、登録販売者制度がドラッグストア業界の成長を支えてきたこと、また当面の成長を担保していることは間違いない。ここでJACDS会員企業が一枚岩にならないと制度設計は揺らぎ続け、「登録販売者不要論」を訴える声もなくならないと思う。(八島)

### 今号の主な内容

社説	コロナ禍で強まったヘルスケアのニーズ…2
新企画	フォーカス「人」・内田日出子さん…3
対談	JACDS 池野会長×キリンビールの樋口社長…4~5
	クローズアップ在宅医療・介護×シリーズサライヤ…6~7
	食と健康アワード・ノミネート紹介…8~11
	機能性表示食品売り上げランキング…12
店舗レポート	サンキュードラッグ新下関店…13
連載	DeS 今昔物語⑨キリン堂HD・寺西会長…16
	知られざる「粘膜免疫」と「IgA抗体」の世界…18
	「深紫外線LED」脚光の年…19
連載	ビタミンDはなぜ必要か④…21
対談	JAH1 今西会長×ウーマンズ・阿部代表…24

# sanipak

日本サニパック株式会社

きれいな地球と、きれいな心を。



収納に便利!

上からも横からも  
1枚ずつ取り出せるゴミ袋



スマートキューブ  
SMARTCUBE.

ニオイにお困りのあなたへ!

ゴミ袋のプロが作った

ニオイを解決!消臭袋「ニオワイナ」



消臭ポリ袋 ニオワイナ  
niowaina



日本サニパック株式会社  
コーポレートサイト  
www.sanipak.co.jp/

